

# 第58回 緑膿菌感染症研究会 プログラム

第1日目 1月19日（金）

8:55~9:00 開会挨拶

9:00~9:30 スポンサーレクチャー1「緑膿菌感染症に対する次世代ファージセラピーの  
社会実装に向けた取り組み」

座長：岩野 英知（酪農学園大学 獣医生化学ユニット）

演者：安藤 弘樹（岐阜大学 医学系研究科ファージバイオリジクス研究講座）

共催：アステラス製薬株式会社

9:40~10:20 一般演題1

座長：小林 寅喆（東邦大学）

演者：1. カルバペネム耐性緑膿菌全国サーベイランス

矢野 大和（国立感染症研究所 薬剤耐性研究センター）

2. VITEK 2で測定した *Pseudomonas aeruginosa* の PIPC と TAZ/PIPC MIC 値の  
逆転現象に関する検討

西村 美優（近畿大学病院中央臨床検査部）

3. 当院で分離されたグラム陰性桿菌に対するタゾバクタム/セフトロザンの感受性に  
関する検討

川村 英樹（鹿児島大学 大学院医歯学総合研究科 感染症専門医養成講座）

4. 同一患者より継続的に分離された *P. aeruginosa* の耐性化とその性状について

伊藤 隆光（市立東大阪医療センター 臨床検査技術科）

10:30~12:00 共催シンポジウム1「緑膿菌感染症の治療戦略

—TAZ/CTLZの基礎・臨床からの可能性—」

座長：吉田耕一郎（近畿大学医学部 安全管理部 感染対策室）

演者：1. 緑膿菌感染症の疫学と薬剤感受性の動向

柳原 克紀（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

病態解析・診断学分野（臨床検査医学））

2. 基礎・臨床データから考える緑膿菌感染症での抗菌薬選択

三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学）

3. 院内肺炎診療における TAZ/CTLZ の位置づけ

掛屋 弘（大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学）

共催：MSD 株式会社

12:10~13:00 ランチョンセミナー1「 $\beta$ -ラクタマーゼ研究の歴史～最近のトピックスを含めて～」

座長：岩田 敏（東京医科大学微生物学分野）

演者：石井 良和（東邦大学医学部 微生物・感染症学講座 感染制御学分野）

共催：Meiji Seika ファルマ株式会社

13:10~14:20 総会・みのるメモリアル受賞講演

14:30~15:00 一般演題2

座長：金子 幸弘（大阪公立大学大学院医学研究科 細菌学）

演者：1. 呼吸器検体における緑膿菌の薬剤感受性の推移と耐性遺伝子の解析

松本 慧介（長崎大学病院 検査部）

2. 緑膿菌角膜炎に対するヨード剤点眼による抗菌的補助療法

秦野 寛（ルミネはたの眼科）

3. 薬剤耐性緑膿菌感染症に対する人工抗菌酵素の開発

内山 淳平（岡山大学）

15:10~16:40 共催シンポジウム2「新規シデロフォアセファロスポリン系抗菌薬セフィデロコルの位置付けと今後のAMR治療」

座長：迎 寛（長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野（第二内科））

高橋 聡（札幌医科大学 医学部 感染制御・臨床検査医学講座）

演者：1. 国内外の緑膿菌を含む各種耐性グラム陰性菌の広がり

大毛 宏喜（広島大学病院感染症科）

2. セフィデロコルの作用機序と抗菌活性

山野 佳則（塩野義製薬株式会社・創薬疾患研究所）

3. カルバペネム耐性菌感染症治療薬としてのセフィデロコルの位置付け

二木 芳人（昭和大学医学部 内科学講座 臨床感染症学部門）

共催：塩野義製薬株式会社

17:00~19:00 懇親会

会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 横浜ランドマークタワー 25F「バンケットルームO」

## 第2日目 1月20日(土)

### 9:00~9:40 一般演題3

座長：間世田英明（産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門）

演者：1. 抗生物質内包メンブレンベシクルの生成

小松 詩温（筑波大学大学院・生命地球科学研究群）

2. 緑膿菌においてエンドリシンによって形成される細胞壁欠損細胞の解析

原田 潤（筑波大学大学院・生命地球科学研究科）

3. 分離時期が20年異なる多剤耐性緑膿菌株のバイオフィーム形成能の評価

森永 芳智（富山大学学術研究部医学系微生物学講座）

4. 抗緑膿菌 PrcV mRNA ワクチンの開発

川口 顕（京都府立医科大学麻酔科学教室）

### 9:50~11:00 共催パネルディスカッション「感染症の病態を踏まえた新たな治療法の検討」

座長：舘田 一博（東邦大学医学部微生物・感染症学講座）

野村 暢彦（筑波大学 生命環境系）

演者：1. バイオフィームの制御による治療の可能性

村上 圭史（川崎医療福祉大学医療技術学部臨床栄養学科）

2. 緑膿菌感染症に対する抗体療法の可能性を再考する

横田 伸一（札幌医科大学医学部微生物学講座）

3. pDCを活性化する乳酸菌を活用した日々の感染症対策の可能性

金内 理（キリンホールディングス株式会社ヘルスサイエンス研究所）

共催：キリンホールディングス株式会社

### 11:10~11:50 招請講演「岩本愛吉先生と河野茂先生にご指導を仰いだ感染症対策」

座長：松本 哲哉（国際医療福祉大学医学部感染症学講座/

国際医療福祉大学成田病院感染制御部）

演者：秋野 公造（参議院議員（福岡県選出））

### 12:00~12:50 ランチョンセミナー2「抗菌薬使用最適化をめざした地域連携活動」

座長：山本 善裕（富山大学学術研究部医学系感染症学講座）

演者：掛屋 弘（大阪公立大学大学院 医学研究科 臨床感染制御学）

共催：ファイザー株式会社 メディカル・アフェアーズ部

### 13:00~13:40 特別講演「耐性菌リスクを考慮した緑膿菌気道感染への対峙

—ガイドラインにみる慢性下気道感染症および免疫不全下での治療戦略—

座長：迎 寛（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 呼吸器内科学分野（第二内科））

演者：塚田 弘樹（東京慈恵会医科大学附属柏病院 感染制御科）

13:50~14:20 スポンサーレクチャー2「病室におけるイオンレス<sup>®</sup>（次亜塩素酸水）の空間噴霧による緑膿菌除菌性能試験法の検討」

座長：賀来 満夫（東北医科薬科大学医学部 感染症学教室/東北大学医学部）

演者：高橋 幹夫（岩手医科大学医学部総合診療医学講座）

共催：ニプロ株式会社

14:30~15:00 一般演題4

座長：佐和 貞治（京都府立医科大学附属病院）

演者：1. 新規抗緑膿菌抗体 COT-143 の PK/PD 解析

原 貴史（塩野義製薬株式会社 医薬研究本部）

2. 2020年に北米及び欧州で収集された臨床分離各種グラム陰性細菌に対するセフィデロコルの抗菌活性

山城 秀仁（塩野義製薬株式会社 創薬疾患研究所）

3. 当院における長期持続緑膿菌菌血症の症例報告および自験例5例の臨床的検討  
茂見 茜里（鹿児島大学病院 感染制御部）

15:00~15:30 一般演題5

座長：木村聡一郎（湘南医療大学 薬学部）

演者：1. 広範囲薬剤耐性 *Acinetobacter baumannii* の全ゲノム解析

西田 智（帝京大学医学部微生物学講座）

2. 当院における *Acinetobacter* 属菌による肺炎症例の検討

河本 健吾（大阪公立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学）

3. *Acinetobacter baumannii* OCU\_Ac16b 株の莢膜型転換メカニズムの解析

薩仁朝格吐（大阪市立大学大学院医学研究科細菌学）

15:30~15:35 閉会挨拶